

# ふるさと夢とやま

食と農とむらを考える情報誌 No.28

ふるさとウォッチング  
南砺市五箇山地域  
氷見市宮田地区

トピックス  
富山県立中央農業高校 棚田を守り隊

たずねてみよう、棚田のあるまち  
高岡市・氷見市・小矢部市

トピックス  
はじめてみましょう！富山型食生活

トピックス  
広がる、地産地消運動！

トピックス  
越中とやま 食の王国フェスタ2011

カモ親子の農村日記  
滑川市蓑輪堰堤

富山市土 有限会社土遊野 橋本めぐみさん

大学卒業後、棚田が広がる中山間地域で両親らとともに農業を営む橋本さん。アイガモ農法による米づくりをはじめ、鶏の平飼いなどの「有畜循環型自然農法」は県内外から注目を集めています。

# ふるさとオッチング 1

## 南砺市 五箇山地域



地元住民とコアリヤク隊による棚田の石積み作業

# 日本の原風景を未来へつなぐ！

五箇山地域は世界遺産の合掌造りをはじめ、のどかな農村風景や受け継がれてきた独特の文化が今でも大切に守られています。日本の原風景ともいえる五箇山の暮らしかや景観を後世へつないでいこうと、地域は丸となり、都市住民との交流活動も盛んに行っています。

## みんなで農作業の日 in 五箇山の挑戦 「農」を通じて交流広げる

「五箇山の暮らしを後世へつなごう」と。その熱い思いから、「みんなで農作業の日」 in 五箇山実行委員会の挑戦が始まりました。

この実行委員会は、行政や農業公社などの関係団体から構成され、五箇山を舞台に自然や農業・伝統文化を「グリーンツーリズム」の素材として生かし、年間を通して活動してきました。平成12年に南砺市利賀村地域で始まり、これまで6haの放棄地を解消・復旧し、延べ7千人を超える交流が生まれています。

## コアリヤク隊による活動

近年は「世界遺産・五箇山棚田コアリヤク隊」(コアリヤクは五箇山方言で、助ける、手伝うの意)が結成され、農業の手伝いをしてくれる若者たちが、五箇山を訪れるようになりました。特産作物の収穫や崩れた石積みを復旧するだけでなく、夜は地元住民と語らう

### 温かくて美味しい五箇山の大ファン



黒田 乃生さん 筑波大学大学院准教授 (世界文化遺産学専攻)

「みんなで農作業の日」 in 五箇山には、個人的には棚田オーナーとして、また学生の演習ではコアリヤク隊として3年前から参加しています。五箇山の皆さんはいつもとても温かく、丁寧に指導してくださいます。畑で体を動かして、地域の方々とお話をして、美味しい料理をいただけて、参加した学生は必ず大の五箇山ファンになって帰ります。五箇山の奥深い魅力がファンの輪を通して世界に広がることを願っています。

などして交流も満喫しています。これからも地域と都市住民が一体となって、五箇山の暮らしを未来へつなぐために、1本、また1本と、「出

## 東赤尾・楮地区の取り組み

### 遊休農地で収穫体験募る

五箇山では、過疎・高齢化により、耕作放棄地が広がっており、遊休農地が広がっています。しかし、現在は、農業公社が担い手となり、地域の農地を管理し、景観を保全していることから、耕作放棄地は解消されつつあります。

東赤尾・楮地区では、遊休農地化している棚田を有効活用し、特産の「合掌みょうが」、「五箇山かぼちゃ」の作付けを行い、収穫体験を切り口とした、当地域の魅力を発信する活動を始めました。ターゲットを親子に絞り、収穫の喜びと伝統文化に触れ合える企画を用意するなどし、五箇山地域の愛好家の拡大に努めています。

(南砺市農政課主事 富田大輔)

※農業体験の申し込みは、南砺市役所のホームページ( <http://www.city.nanto.toyama.jp/webapps/www/index.jsp> )をご覧ください。



特産の五箇山かぼちゃや合掌みょうがの収穫を楽しむ参加者たち

## 五箇山かぶらの種をつなぐ

西 敏一さん (合掌の里支配人)

五箇山にUターンして民宿を始めました。秋になって、赤かぶ料理を作っている時、ちょっと昔を思い出して子ども頃おやつがわりに食べた、あの甘いサクサクした赤かぶらだと思ひ、丸かじりしてみたら、何かしらちよっと違った食感がありました。近所のばあちゃんに聞いてみたら「あれは昔の五箇山かぶらでないよ!」飛騨紅って言うやつじゃよ!と教えられました。



最近、皆さん観光土産の漬物用として出荷するために飛騨紅種を作付けているらしく、昔の赤かぶらは見当たりませんでした。

### 地域振興の特産品

5年前、NPO法人雪峯倶楽部が五箇山地区で設立され、私も会員になりました。NPOで地域振興のためには何か特産品を出そうとの意見があり、私は一番に五箇山赤かぶ

### 伝統の自然農法に挑戦

耕作地が少ないので最近では、昔からの手法である「なまぎのかぶら」に挑戦しています。これは、なまぎ畑(山の斜面での焼畑農法)で作る無農薬無肥料の自然食品の五箇山かぶらです。葉丈が短く、ちよっと小ぶりですがかわいくて、真っ赤なかぶらは本当に甘いんですよ。これが本当の五箇山かぶら。私が食べた昔の味です。



生き物観察会の様子



乱橋池での草刈り、清掃活動

**保護活動の地域浸透促進**

トンボの成育環境と、緑豊かな景観を回復するため、守る会は、代表的な生息地である乱橋池の再生・保全に取り組んでいます。

特にトンボの成育場所を狭める乾燥化を防ぐため、守る会では毎年水域に侵入する草を除去し、ヘドロ化を改善するためにゴミ清掃を行っています。

最近では増加してきたザリガニによって近隣の田の畦に穴が開けられる事態も多発し、予防策として畦波

板の設置なども行いました。

守る会は情報発信にも取り組んでいます。その活動の一つが「生き物観察会」です。今年も、7月30日(土)に市内の小学生の親子32組と会員合わせて70人が参加して、トンボ観察会が開かれ、多くのトンボを見ることができました。

この活動を通して、地域の子供たちに郷土の恵まれた自然に触れてもらい、郷土への誇りを育むとともに、保全活動の地域への浸透を図っています。

※ザリガニは採取して良いのですが、トンボは保護のため採取をご遠慮ください。



オニヤンマ



チョウトンボ



アオヤンマ

### 乱橋池で見られるトンボたち

乱橋池周辺で確認されたトンボの種類は67を数えており、その数は静岡・桶ヶ谷沼(70種)に譲るものの、単位面積あたりの多さでは日本一を誇っています。

子供たちに人気のオニヤンマ、ギンヤンマはもちろんのこと、羽根の美しさが特徴的なチョウトンボ、緑の胴体が鮮やかなアオヤンマなども多く目にすることができます。

とがでます。

(写真提供 一橋弘之氏、一橋亮氏)

# ふるさと オツチング 2



氷見市  
宮田地区

■アクセス  
国道415号線、島尾交差点を山側に入る。



初夏の乱橋池 (写真提供: 氷見市)

## 「トンボの宝庫」乱橋池を守る

みだればしいけ

島尾の浜を背に、広々とした田園地帯を行くこと約1km半、小学校脇で県道を外れると、そこからは里山に包まれた静かな谷間の道が竹林の奥へと続いています。小川がせせらぎ、稲穂が揺れる小さな谷は一見どこにでもあるような里山の原風景ですが、ここは、生息する種類の豊富さで知られる、国内有数の「トンボの宝庫」なのです。氷見市宮田地区乱橋池周辺のトンボと自然を守る活動を紹介いたします。

### 危機感から生まれた「守る会」

#### 生息環境が少しずつ悪化

常緑樹と笹竹が繁茂する里山、そこからしみだしてくる小川とそれを抱きとめる多くのため池。こうした周辺環境は昆虫や鳥類、水生植物を育み、宮田地区に豊かな生態系をもたらしてきました。特にトンボの成育には最適の環境であり、豊富な数と種類のトンボが見られることから、乱橋池周辺は「トンボの宝庫」と呼ばれるようになりました。

しかし、近年その環境に変化が生じ、トンボの生息空間が脅かされるようになりました。一部のトンボが大きく減少するなど、宝庫

の名が揺らぎ始めたのです。

トンボの成育環境を悪化させたのは、耕作放棄地の増加とため池の乾燥化でした。さらにゴミの不法投棄やヘドロの堆積などが加わって、トンボのすみかが少しずつ失われていったのです。

国内有数のトンボの生息地と里山に囲まれた豊かな農村景観を取り戻そうと、地域の人々が中心となって平成16年に発足したのが、「乱橋池周辺のトンボと自然を守る会」です。守る会は毎年「美の里保全活動支援事業」等の支援を受けながら、さまざまな保護活動を行っています。



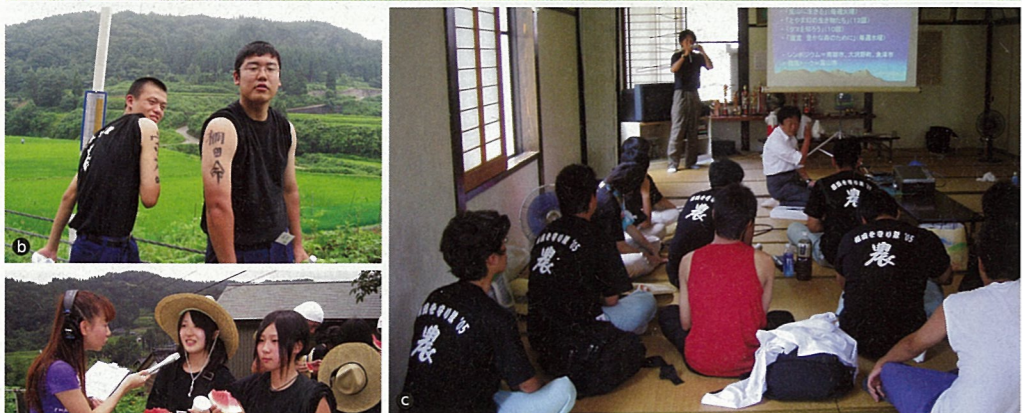
11年目を迎えた「棚田を守り隊」

いる生徒たちですが、棚田独特の急な傾斜のり面に戸惑いも多かったよう。吉田匠君（2年）は「靴に滑り止めの金具をつけていても踏ん張れない」と何度も汗をぬぐっていました。それでも、生徒たちは強い日差しの中、約5haの棚田周辺で生い茂った雑草の刈りに奮闘。日尾農地管理組合の井上和男組合長は「暑いのに黙々とよく動いてくれた。若い人たちが来ると活気づく」と生徒たちの働きぶりに目を細めていました。

中央農業高校の「棚田を守り隊」が結成されたのは平成13年のこと。「とやま棚田シンポジウム」（富山県、富山県農業公社・現農林水産公社主催）への参加を機に、棚田の多面的な機能やなぜ草刈りの重要性を強く認識した生徒有志が「農業を学ぶ自分たちに何かできることがあるのではないかと立ち上がったことが始まりでした。「棚田を守り隊」という名には、「棚田をいつまでも守っていききたい」という思いが込められています。その年の7月、八尾の三乗地区で初めての「棚田を守り隊」を実施しました。

### 研修や住民との交流も

「棚田を守り隊」の志は後輩たちを受け継がれて、毎年三乗地区または日尾地区のいずれかでを行っています。活動は地元農業関係者に喜ばれ、草刈り作業後には、意見交換会や研修、ときには昼食を囲みながら地元住民と交流するなど、生徒の学びを広げる機会にも



① 富山市八尾・三乗地区で実施された初めての「棚田を守り隊」（平成13年）  
 ② 毎年そろいのTシャツで心も一つに（平成15年）  
 ③ 草刈り作業後、里山の生態系や環境問題について学ぶことも（平成17年）  
 ④ 高校生による棚田保全活動として各メディアでも紹介（平成20年）

### 生徒有志が立ち上げる

は「これだけの雑草を刈り取るのは高齢者だけでは大変だと実感した。若い世代が率先して手伝っていかねば」と棚田保全に対する気持ちを新たにしていました。

なっています。生徒の中には「卒業後も棚田を守りに参加したい」という声もあるそうです。中央農業高校の室井康志教諭は、「将来就農する生徒にとって、維持管理に労を要する棚田の作業を体験として学べることの意義は大きい」と活動

継続に期待を寄せています。「棚田を守り隊」は富山県における棚田保全事業の一環となっています。将来の農業の担い手による取り組みは農業関係者の励みであり、各メディアにも取り上げられています。



①・② 富山市日尾地区の棚田で草刈りに奮闘する中央農業高校「棚田を守り隊」  
 ③ 開始式の様子  
 ④ 日尾農地管理組合員から説明を受ける生徒たち

## 富山県立中央農業高校

# 棚田を守り隊

美しい風景、豊かな自然  
 いつまでも守っていききたい！

中山間地域に広がる棚田は農業生産の場としてだけでなく、自然環境をはぐくみ、地すべりや土砂崩れといった災害を防ぐなど、さまざまな役割を果たしています。富山県立中央農業高校では、棚田保全の取り組みとして、毎年夏、生徒有志が「棚田を守り隊」を結成し、棚田の環境維持に不可欠な草刈りをボランティアで行っています。今年で11年目を迎えたその活動を紹介します。

### ボランティアで草刈り 平成13年から毎夏実施

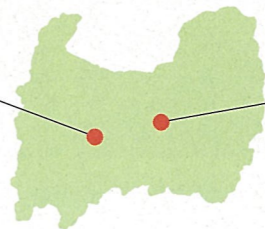
中央農業高校では、棚田保全の重要性や中山間地域の農業について理解を深めるため「棚田を守り隊」をつくり、棚田の草刈りをボランティアで行っています。平成23年度は7月12日、富山

### 急なりの面に悪戦苦闘

生徒たちは草刈機や鎌を手に、組合員の先導により、雑草を次々と刈り取っていました。授業や実習を通じて重さ10kgを超す草刈機の操作には慣れて

市日尾地区で行い、作物科学コースの2、3年生25人が参加しました。

富山市八尾町  
 三乗地区



富山市  
 日尾地区

棚田とは 中山間地域の中でも急傾斜（水平距離 20m に対し高低差が 1m 以上）の農地を指します。県内には 13 市町村約 430 集落に分布しており、自然環境をはぐむとともに、その美しい風景は人々の心に安らぎをあたえてくれます。

# たずねてみよう 棚田のあるまち

## 高岡市・氷見市・小矢部市 いちおし編

### 棚田MAP



### A 五位 五位 (高岡市)

「家族旅行村」の近く  
主要地方道小矢部・伏木港線から五位ダム方面に、主要地方道押水福岡線を約 5 km 進んだところに棚田が広がる。近くに、四季の彩りを体感しアウトドライブを満喫できる「とやま・ふくおか家族旅行村」がある。

### B 小野 小野 (高岡市)

宮島峡「一の滝」望む  
五位ダムを目指して進むと、子撫川ダムからの一般県道福岡宮島峡公園線と一般県道小野上渡線との交差点付近に棚田が広がる。また、ここから、宮島峡県定公園の一押しスポットである「一の滝」も見ることができる。

### C 長坂 ながさか (氷見市)

「棚田百選」にも選定  
国道 160 号線・宇波の T 字路にある「長坂棚田」の看板を目印に、石動山方向に約 3 km 進むと、「棚田オーナー事業」で有名な、海越しの立山連峰を望む棚田が広がる。「日本の棚田百選」にも選ばれている。

### D 胡桃 くるみ (氷見市)

眼下に広がる富山湾  
国道 160 号線・阿尾の交差点で、主要地方道氷見・田鶴浜線に入り、石川県中能登町に向かって北上する。磯辺集落の胡桃口から、一般県道良川・磯辺線を約 1 km 進むと眼下に富山湾を望む棚田が広がる。

### E 宮島 みやじま (小矢部市)

赤かぶ産地でも有名  
国道 8 号線・桜町の交差点を、子撫川ダムに向かって約 1 km 進み、矢波口の交差点を左折して子撫川にかかる矢波橋を渡ると、棚田が広がる。赤かぶの生産が盛んな地域としても知られている。

### F 南谷 みなみだに (小矢部市)

棚田が点在する山地  
国道 8 号線から、石川県かほく市方面に向かって国道 471 号線を約 4 km 進むと、旧岩尾滝小学校、現小矢部市教育センター周辺に棚田が広がる。山地の多い南谷地区では、他にもいたる所に棚田がある。

### 朝採れ！ おすすめ農産物直売所 新鮮！

- |  |   |  |
|--|---|--|
| <h4>① あぐりっち佐野店</h4> <p>直売コーナーは広く、4～12月は品目、量ともに多くなる。高岡産小麦使用のパンや農家の手作り惣菜も提供。</p> <p>●JA 高岡佐野支店横<br/>☎ 8:30～17:00 (年末年始休)</p>   | <h4>② あぐりっちアグリピア店</h4> <p>とれたての野菜、切り花、農産加工品を直売している。安全で新鮮な自然の恵みが元気をくれる。</p> <p>●アグリピア高岡内<br/>☎ 9:00～17:30</p>                              | <h4>③ 旬菜広場ふくおか</h4> <p>ショッピングプラザタピス内、地元で生産された新鮮な農産物等を販売している。</p> <p>●福岡ショッピングプラザタピス内<br/>☎ 10:00～21:00</p>               |
| <h4>④ いきいき直売の会</h4> <p>直売コーナーでは、氷見産のハトムギを使用した加工品や、地元産果物のジャム、農家の手作りお菓子の販売をしている。</p> <p>●JA グリーンひみ内<br/>☎ 9:00～19:00 (水曜休)</p> | <h4>⑤ おらっちゃんの店</h4> <p>ハトムギ茶や梅加工品(梅干しなど)、米粉パン、農家の手作りお菓子などを販売している。店内には、軽食コーナーもある。</p> <p>●国道 160 号線海峰小学校交差点付近<br/>☎ 8:30～12:30 (年末年始休)</p> | <h4>⑥ 道の駅メルヘンおやべ</h4> <p>小矢部市産の農産物と農産加工品の種類の多さは市内一番。館内には食事コーナーや物販コーナーがある。</p> <p>●道の駅メルヘンおやべ内<br/>☎ 9:00～19:00 (元日休)</p> |
| <h4>⑦ 村の駅きたかんだの郷</h4> <p>山菜、タケノコ、白菜、大根など、新鮮な野菜の販売をしている。農産加工品や民芸品、陶芸品も販売している。</p> <p>●国道 359 号線末友交差点横<br/>☎ 9:00～12:00</p>    | <h4>⑧ 村の駅菜っちゃん大島店</h4> <p>射水市産の山菜、タケノコや大根、プロックリーなど、新鮮な野菜を販売している。他に太閤山店もある。</p> <p>●JA いみず野大島支店横<br/>☎ 9:00～14:00</p>                      | <h4>⑨ 母ちゃん市</h4> <p>毎週水・金曜、射水市産の新鮮な野菜を販売している。野菜の種類も豊富である。</p> <p>●富山戸出小矢部線黒河新信号そば<br/>☎ 13:00～17:00 (4～12月の水・金曜)</p>     |

※さらに詳しい情報は、高岡農林振興センターホームページ (<http://www.pref.toyama.jp/branches/1632/index.html>) の直売所情報をご覧ください。

# 富山型食生活

はじめてみましょう！

美味しい富山米と新鮮な魚介、野菜など旬の地場産食材や伝統的な食文化を活かした、栄養バランスのよい食生活を「富山型食生活」とよんでいます。秋から冬は旬の富山の食材が特に豊富な時期です。海、野、山にまたがる富山ならではの地形から生み出される恵みを、家族で美味しく味わってみませんか。

## おすすめ 富山の 秋メニュー

旬の地場産食材がそろった秋。旬の野菜にはビタミンやミネラル、食物繊維が豊富に含まれています。お好み焼きはしるえばやとろろ昆布を用いて富山らしくしました。富山県産豚肉を使ったソテーはきのこをふんだんに取り入れて、ヘルシーかつ家族そろって楽しめるメニューです。



朝食



夕食



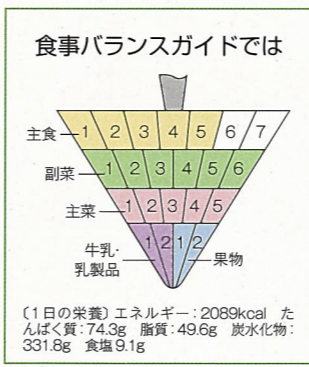
朝食



間食



- 朝食** ご飯、みりん干し、青菜のおひたし、なめこおろし、秋なすと揚げの味噌汁、果物(なし)
- 昼食** しるえばや、とろろで好み焼き！  
富山風お好み焼き(しるえばや、とろろ昆布入り)、柿とかぶのサラダ、果物(巨峰、ゆで栗、カフェ・オ・レ)
- 間食** いもがもち
- 夕食** 豚肉をきのこソースでヘルシー！  
ご飯、ポークソテーきのこソース、大根のおすわい、ほうれん草のごま和え、しじみの味噌汁



## おすすめ 富山の 冬メニュー

冬の味覚の代表であるブリをはじめ、白ねぎ、白菜、りんごなど富山を代表する食材をふんだんに盛り込んだメニューです。切り干し大根は保存が効くだけでなく、生よりも栄養価が高くなります。ブリはおしゃれなイタリアン仕立て。彩りの野菜とともにヘルシーな一品です。



朝食



夕食



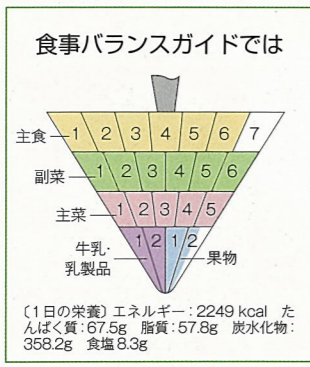
朝食



間食



- 朝食** 子供の大好きな卵料理に「工夫」  
ご飯、切り干し大根の卵焼き、かぼちゃの煮物、もやし、早漬け、なめこの味噌汁
- 昼食** 菜めしのおにぎり、富山牛の煮物、白菜とほうれん草の二色巻き、完熟りんごのコンポート
- 間食** ホットミルク、干し柿
- 夕食** イタリアンでブリをおしゃれに！  
ご飯、ブリのイタリアン仕立て、春菊とさつまいもの白和え、春雨スープ、小松菜わさび風味



### 富山風お好み焼き

- 〈材料〉4人分
- 小麦粉 …… 160g
  - だし汁 …… カップ1
  - 卵 …… 1個
  - 長いも …… 80g
  - キャベツ …… 200g
  - イカ …… 1ばい(80g)
  - しるえばや …… 12尾



- 〈作り方〉
- ①ボウルに卵をときほぐし、だし汁、小麦粉、すりおろした長いものを順に加えて混ぜる。
  - ②①にキャベツのせん切り、食べやすく切ったイカを加える。
  - ③フライパンに油を熱し、②の生地を丸く広げ、しるえばや、干し、黒とろろ昆布を乗せ、両面を焼く。
  - ④皿に盛り、ソースとかつお酢、紅しょうがを飾る。

### ポークソテーきのこソース

- 〈材料〉4人分
- 豚ロース肉 …… 4枚
  - 塩 …… 少々
  - こしょう …… 少々
  - サラダ油 …… 大さじ2
  - 酒 …… カップ1/3
  - しめじ …… 1/2パック
  - えりんぎ …… 1/2パック
  - 生じたけ …… 4枚
  - 赤・黄ピーマン …… 各20g
  - サラダ油 …… 適量



- 〈作り方〉
- ①豚ロース肉は軽くたたいてのばし、塩、こしょうをしておく。
  - ②しめじは、軸を取り、子房に分ける。えりんぎ、しいたけは薄く切る。赤・黄ピーマンはせん切りにする。
  - ③フライパンに油をひき、①を両面こんがり焼き、皿に取り出したあと、きのこ類、赤・黄ピーマンを炒め、調味料を味をととのえ、水溶き片栗粉でとろみをつける。
  - ④皿に肉を盛り、上にはソースをかけて、チャールを添える。

### 切り干し大根の卵焼き

- 〈材料〉4人分
- 卵 …… 4個
  - 切り干し大根 …… 20g
  - 白ねぎ …… 10g
  - 塩 …… 小さじ1/4
  - サラダ油 …… 適量



- 〈作り方〉
- ①切り干し大根は水洗いしてよく切り、白ねぎは小口切りにしておく。
  - ②卵をときほぐし、①を加えて調味料を加える。
  - ③熱したフライパンにサラダ油をひき、②を流し入れ、両面をこんがり焼く。
  - ④8等分に切り、器に盛る。

### ブリのイタリアン仕立て

- 〈材料〉4人分
- ブリ …… 600g×4切れ
  - 塩・こしょう …… 適量
  - たまねぎ …… 小1/2個
  - 赤ピーマン …… 1/6個
  - 黄ピーマン …… 1/6個
  - 片栗粉 …… 適量
  - サラダ油 …… 適量
  - 白ワイン …… 200ml



- 〈作り方〉
- ①ブリを全体に塩をまぶす。
  - ②熱したフライパンにサラダ油をひき、①を塩、こしょうした面を下にして焼く。反対に返したら②の野菜をブリのせ、白ワインをまわし入れ、ふたをして蒸し焼きにする。
  - ③④を耐熱容器に入れ、レンジにかける。
  - ⑤皿に③をのせ、④のソースをかける。細かいさいの目に切ったピーマンを周囲に飾るとお洒落だ。



1日分の適量は、主食4〜7、副菜5〜6、主菜3〜5、牛乳・乳製品2、果物2です。

食事バランスガイドとは？  
1日にとる料理の「組み合わせ」と「おおよその量」をイラストで示し、何を、どれくらい食べたらいいか一目で分かる食事の目安です。コマの形で1日の食事の量を示します。朝食を抜いたり、外食が続くと野菜が不足すると、栄養バランスが崩れコマが倒れてしまいます。あなたの食生活のコマをきれいにまわしましょう。



□食事バランスガイドの詳細は、農林水産省ホームページをご覧ください。 [http://www.maff.go.jp/j/balance\\_guide/index.html](http://www.maff.go.jp/j/balance_guide/index.html)

□ほかにもいろいろな富山のおすすめメニューがあります。ホームページにアクセスしてみましょう。 <http://www.pref.toyama.jp/sections/1600/syokuiku/index.html>

# 越中とやま 食の王国フェスタ2011

とびっきり旨い“とやまの幸”をたいらげよう！～富山ぜんまい～



■日時 **10月29日(土)、30日(日)**  
10:00～16:00

■場所 **富山産業展示館 (テクノホール)**  
※JR富山駅北口より30分おきに無料シャトルバス運行

富山ならではの新鮮で多彩な食材や料理が一堂に！  
伝統に培われた豊かな食文化や新しい食の魅力も紹介し、  
「食のとやまブランド」を県内外にアピールします。

## セントラルキッチン



NHK「きょうの料理」でおなじみの高城順子さんによる料理実演です。  
(30日(日)実施)



## 「とやま食の匠・創作の匠」料理実演

「とやま食の匠」に新たに認定された料理人が県産食材を使って腕を振ります。



## 知って納得!ザ★地産地SHOW!

とやまの食をテーマとした、参加型ステージクイズショー。クイズにすべて正解した「食の王者」にはとやまの特産品をプレゼント! (両日とも実施)

## ●その他

KNBラジオタイアップ企画  
大ジャンケン大会  
チャリティオークション

## 王国うまいもん市場

県内全域からイチオシの特産品が大集合!

- ます寿し
- りんご
- 餅
- 干魚
- はちみつ
- みょうが寿し
- かぶら寿し
- 里芋
- ワイン
- 漬物 ほか

## 朝採れ軽トラ市

「軽トラ」で旬の野菜を大量販売。畑と食卓が直結するボリュームたっぷりの迫力と楽しさあふれる内容です。

## ぜんまい食堂街

「地産地匠弁当」の限定販売に加え、県内のおいしいメニューなどを販売。バラエティーに富んだ、富山ならではの味を味わえます。

## 米粉スイーツ

KNB ラジオ番組で紹介する、県内産の米粉や食材を使ったスイーツを販売。あなたの好みはどのスイーツ?

## 取組み紹介

富山の優れた食材や商品を紹介します。富山県推奨とやまブランド、Eマーク商品の紹介 など

※内容は一部変更になる場合があります。

## ぐるっと王国クイズラリー

富山の食についてのクイズラリー。解答者には、ガラポン抽選で富山の特産品をプレゼント! (各日・先着1,000組まで)

## ふるさと体験工房

市町村の特産品にふれる体験イベントが盛りだくさん。つくった料理はその場で試食! ふるさとの味が堪能できます。(当日先着順)

【主催】越中とやま食の王国フェスタ実行委員会(富山県、富山市、魚津市、富山県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会富山県本部、富山県漁業協同組合連合会、富山県森林組合連合会、(社)富山県食品産業協会ほか)  
【併催】第49回富山県農林漁業祭、第35回富山県米まつり、第41回富山県花き品評会、その他関連事業

(お問い合わせ) 越中とやま食の王国フェスタ実行委員会事務局(県農産食品課内) TEL:076-444-3271 http://www.shoku-toyama.jp/



おいしさ キトキト とやま産

# 広がる、地産地消運動!

食や環境に対する関心が高まるなか、富山県では「県民ぐるみで県産品を大きく育てる地産地消運動」を推進しています。その取り組みをご紹介します。

## 地産地消県民交流フェア2011

富山が誇る素晴らしい食材、食文化に触れ、地産地消への理解を深めていただくことと、平成23年7月3日(日)、「地産地消県民交流フェア2011」を開催しました。富岩運河環水公園横親水広場では、旬の野菜や切り花、特産加工品などが並び、好天の中約1万人の来場者でにぎわいました。ポルファートとやまでは「とやま地産地消シンポジウム2011」を開き、俳優で気象予報士の石原良純さんの講演や、地産地消に取り組む生産者、事業者の事例発表に多くの消費者の参加をいただきました。



## 農産物直売&地域資源等新商品展示



農業団体や生産者など22団体・業者が出店した農産物等直売コーナーには、とれたての農産物や特産加工品などがそろいました

地域資源を活用した新商品コーナーには15団体・業者が食材の風味を生かした飲料や調味料などを提案しました



「穂先タケノコの炊き込みご飯」は計500食が振る舞われました



石原良純さんが飛び入りで来場!「はちみつトマト」などを試食し、来場者や出店者らと交流されました



「とやまの旬」応援団による県産食材活用メニュー「ねぎたん」のとやまポーク巻きなどの試食が行われました



県産米粉のスイーツやシェフが調理する県産野菜の惣菜なども販売されました

## とやま地産地消シンポジウム2011



### 基調講演 「気象から見える富山の美食」

講師 ●石原良純氏 (俳優・気象予報士)  
1962年生まれ、神奈川県出身。テレビ・映画・舞台等で活躍する一方、1997年に気象予報士を取得し、ウェザーキャスターも務める。

富山を大変気に入り、たびたび訪れては、行きつけのお寿司屋さんなどで富山ならではの美味い食事を堪能していただけるそうです。また、滞在中はよく街中をランニングされているとか。気象についてわかりやすく解説して下さったほか、石原家の食にまつわるエピソードも紹介し、会場を沸かせてくださいました。



シンポジウムには約250人が参加しました

### 事例発表



農業生産者グループ  
母ちゃんパワーが育んだ砺波型地産地消の学校給食  
藤井弘子氏 (となみの農産物生産者グループ協議会会長)



地域資源活用事業者  
「想い」を伝える、地産地消・地域資源活用  
中谷英之氏 (合同会社うなづき商店業務執行社員)

## 地産地消「とやまの旬」応援団を大募集

富山県では、地産地消を県民ぐるみの幅広い運動としていくため、地産地消に取り組む企業、団体、個人を「とやまの旬」応援団として募集しています。  
登録者数(平成23年8月31日現在)個人...1,578名/企業・団体...649社・団体

登録するとこんな特典があるよ!

- ① イベントや農業体験活動の情報を提供。
- ② 応援団員の情報や活動内容をホームページ等で紹介。
- ③ 応援団の提案活動に対し10万円を限度に支援。

※平成23年度の提案活動支援事業の応募は終了しました。

●応募方法/下記のホームページからダウンロードし、必要事項を明記のうえ、郵送・ファクスまたはメールでご応募ください。  
富山県農産食品課のブランド推進班  
Tel/076-444-3271 Fax/076-444-4410  
E-mail/chisanchisho@pref.toyama.lg.jp  
URL/http://www.pref.toyama.jp/cms\_sec/1613/kj00008425.html



## 県産品購入ポイント制度 スタート

10月8日(土)から、県産品を購入してシールを集めて応募すると、抽選で300名に県産品が当たるポイント制度が実施されます。応募方法は、食品スーパーなどで購入した青果、肉、鮮魚等に貼ってある「地産地消」や「プライスラベル」のシールを集め、応募用紙に貼って投函していただきます。たくさんのご応募をお待ちしています。

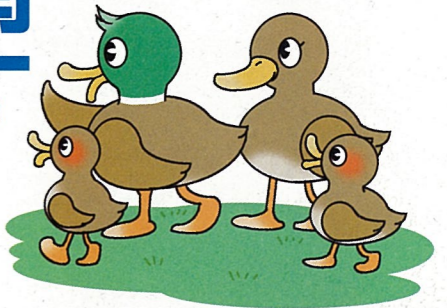
実施期間: 10月8日(土)～11月20日(日) (郵送は県農産食品課へ11月23日(水)当日消印有効)  
対象品目: 米、野菜、果実、鮮魚、精肉、加工食品など  
応募方法: 商品に貼り付けてある県産品表示シールやプライスラベルを10枚1口とし、各店舗に備えた応募用紙に貼った上、応募箱に投函

実施場所: 県内の食品スーパーマーケット、青果店、百貨店、加工食品製造直売所、農産物直売所



**カモ親子の農村日記**  
ふるさとを創る土地改良施設を水辺から眺めてみました

# 早月の 沿岸大地を潤す 水の取り入れ



## 急流、豊富な水量の早月川

衰輪堰堤は、早月川から安定して農業用水を取り入れるために建設された堰堤です。上市町から滑川市と魚津市の市境を流れ、富山湾へと注ぐ早月川は、剣岳（2,998m）を源とする勾配が日本一強い急流河川です。集水域の年間降水量は3,000mmを超え、降雨日数も200日余りと多く、豊富な水量を誇っています。この水は本流と小早月川の合流点、衰輪で取り入れられ、左右岸合わせて3,000ha（東京ドーム640個分）余りの耕地を潤しています。強い地形勾配は約6kWの水力発電（早月川全体）にも活かされています。



衰輪堰堤（頭首工）

## 度重なる洪水や干ばつで疲弊

早月川の豊富な水は流域に多くの恩恵をもたらしてきました。しかし、洪水が多く、明治以降だけで11回もの水害が記録に残されています。また、早月川の河床は転石混じりの砂利層で構成されているため、水が浸透しやすく、夏に連続して干天が続くと、水量がちまちち枯渇して干ばつを引き起こしました。

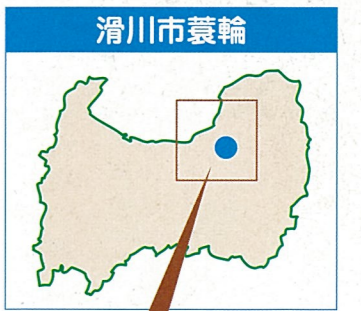
洪水や干ばつ被害のたびに、流域の農民は言語に絶する苦難を強いられ、地域は疲弊していききました。滑川市に明治前後から競うようにして売業業が取り入れられたのは、こうした疲弊による貧乏から脱却するためだったと言われています。



早月川からの用水取入口



蛇籠



前、用水の取入口は用水ごとに設けられていました。早月川に蛇籠を沈めるなどして用水路に導く作業は、多くの人手を要しました。しかも、その蛇籠などは洪水のたびに流されてしまい、そのたびに補修しなければなりません。春の取水期、川の水はまだ身を切るように冷たく、全身水に浸かりながらの作業は想像を絶する辛いものだったといわれています。

## 2年連続の干害で堰堤建設へ

戦後の食糧難に加えて、昭和23、24年、甚大な干害が連続し、苦しむ農家の姿を見た当時の早月加積村長は、流域の町村長に呼び掛け、合口堰堤建設に向けての行動を起こしました。

一部に根強い反対がありましたが、粘り強い説得が実を結び、昭和27年7月、ようやく国が直接実施する事業として採択されました。

早月川が転石の多い稀な急流河川であることから、衰輪堰堤建設には特殊な工法が採用されました。堰堤保護のため流路に鉄板を敷き詰めたほか、夏にこの鉄板が熱で膨張するのを防ぐため、水門の下から絶えず水が噴き出すような工夫がなされました。

昭和37年、滑川市の大浦、大崎野、郷

加積野の大地では当時、もう一つ大きな土地改良事業「流水客土事業」が行われました。早月川扇状地に拓けた水田は砂質の土壌で水の浸透が激しく、稲の生育を妨げていました。また、土中の養分も流亡して急に稲の生育が衰え、収穫量が減ってしまう「秋落ち」にも見舞われました。そして農家が最も恐れたのは、干天続きによる水不足から稲が枯死する被害でした。こうした窮状を改善するため、用水を使って山間地の粘土を運んで混ぜるといった大規模な流水客土事業が行われたのです。流水客土により米の収穫

## 流水客土による米の収穫量増

量に格段に増えました。立山の雪し消らしも波比都奇（早月川）の河の渡り瀬 銚浸かすも（馬の銚が水に浸かるほど雪解け水が溶けと押し寄せてくる）万葉集の伴家持の歌にも詠まれている早月川の恵みの水は、現在も早月川沿岸土地改良区の管理により衰輪堰堤から加積野の大地に安定供給され、農業・農村と人々の暮らしを守り続けています。

参考文献：富山県土地改良史編さん委員会「富山県土地改良史―豊かな大地に―（平成16年）など」

## 土地改良広辞苑

- ・堰堤（えんてい）  
川水を引いたり、流れを緩やかにするなどのために河川や渓谷を横断して築いた堤防。ダムより小規模。
- ・転石（てんせき、土木用語）  
現位置と異なった場所から河川などによって運搬された巨大な石のこと。
- ・蛇籠（じゃかご）  
鉄線や、古くは竹で粗く円筒形に編んだ力ゴに石を詰め込んだもので、河川の水流制御や護岸などに使われた。
- ・客土（きゃくど）  
耕地の土壌改良のため、他から性質の異なる土を運んで混ぜること。

## まんどう様（水神）



まんどう様

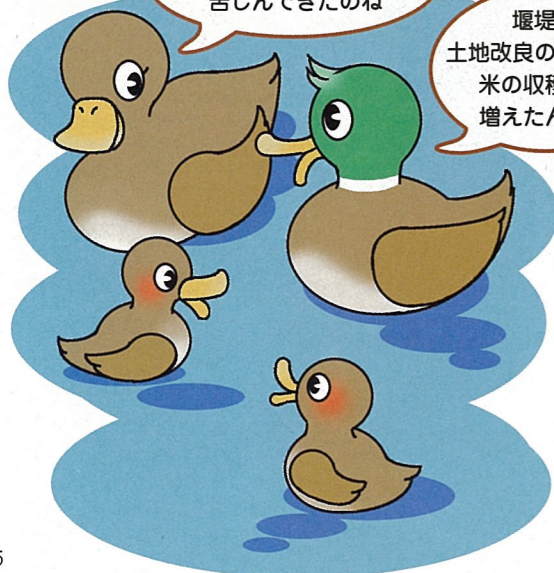
早月川の氾濫のたびに田畑が冠水、流失し、荒廃する被害が度々あり、殊に夏の日照りの干害がまた烈しかった。その度ごとに、先人が水ごいのため信濃の国戸隠神社に詣で分霊を奉祀し、小祠（小さな祠）を建立し、早月川治水などを祈願して「まんどう様」と称し敬崇したものであり、流域には約10カ所現存している。（滑川神社誌より）



水土里ウォークin早月川

長い間、洪水や干ばつに苦しんできたのね

堰堤や土地改良のおかげで米の収穫量も増えたんだよ





## 富山県農村振興技術連盟写真展の作品募集

富山県農村振興技術連盟では、「伝えます。とやまの水と土<sup>みどり</sup>」をテーマに、以下についての作品を募集しています。



平成 22 年度最優秀賞受賞作品  
「心に残しておきたいもの」



①用排水路やため池、農村公園などの農業農村整備事業や、農業土木技術の役割、今も受け継がれている成果などを紹介するもの  
②地域特産物の栽培や省力化された農作業など、特徴ある営農を紹介するもの  
③農村における伝統的な行事や地域文化、美しい景観など、農業農村のもつ多面的な機能を紹介するもの  
どなたでも応募していただけます。多数のご応募をお待ちしております。

平成 22 年度富山県土地改良事業団体連合会長賞  
受賞作品「ならす・うつる・かがやく-Ⅲ」

### 1 要件

- ・白黒・カラーの制限なし
- ・作品はお一人様3点まで
- ・サイズはワイド四切り以内、組み写真も指定サイズに収めてください
- ・印画紙またはフォトプリント用紙を使用してください
- ・未発表で、富山県内で撮影したものに限りです
- ・入賞作品の著作権は主催者に帰属します
- ・入賞作品の電子データ・ネガ・ポジフィルムは後日提出をお願いします

### 2 応募締切

平成 23 年 12 月 2 日 (金)

### 3 表彰

- ・最優秀賞 1 点
- ・富山県土地改良事業団体連合会長賞 1 点
- ・富山県農林水産公社理事長賞 1 点
- ・優秀賞 6 点
- ・佳作 6 点

### 4 作品展示

平成 24 年 1 月 27 日 (金) ~ 29 日 (日)  
県民会館ギャラリーC (ほかに県内各地で展示を予定)

### 5 作品提出及びお問い合わせ先

富山県農村整備課HP	http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1602/index.html		
富山県農林水産部農村整備課	島	076-444-3377	
新川農林振興センター 農村整備課	池田	0765-22-9141	
富山農林振興センター 農村整備課	金川	076-444-4469	
高岡農林振興センター 農村整備課	西川	0766-26-8447	
砺波農林振興センター 指導課	小林	0763-32-8124	
富山県土地改良事業団体連合会管理課	毛利	076-424-3300	

## 立山町農業委員会 耕作放棄地解消の全国表彰

■立山町農業委員会(山元繁幸会長)がこのたび、全国農業会議所・全国農業新聞が主催する「第3回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰」において、全国3位相当の農業会議所会長特別賞を受賞しました。

■立山町の経営耕地面積は概ね 3,300ha であり、そのうち 1/3 に相当する概ね 1,200ha が条件不利地である中山間地域に存在しており、高齢化の進展による農業担い手の減少とも相まって、耕作放棄地が増加していました。



表彰式の様子

■そこで、立山町農業委員会では、平成 12 年から“地域の農業は、地域の人みんなで支え合う”をモットーに、高齢化などにより耕作する人がなくなった農地について引き受け手を探して斡旋するなど、さまざまな活動に取り組み始めました。その結果、県内を代表する観光地である立山・黒部アルペンルート玄関口の県道富山立山公園線や富山地鉄立山線沿いに広がっていた耕作放棄地が、今ではじゃがいもやさつまいもを栽培する

畑に生まれ変わりました。



景観作物の植え付け(横江地内)



里芋やさつまいもなどの作付け(横江地内)



ユズ植栽後の草刈り(小又地内)

■一方、中山間地域のどうしても耕作できないところについては、富山県で最初の取り組みとなるカウベルト(牛の放牧帯※)の実施、あるいはイチヨウやユズといった新しい作物の栽培などを進めてきました。

■立山町農業委員会のこうした取り組みは、22haもの耕作放棄地を解消するとともに、地元企業による農業参入を進めるなど、農地の利用促進に大きな役割を果たすこととなりました。

※カウベルトの郷づくり事業。草を食べる牛を放牧することにより、耕作放棄地の解消や景観保全に役立てるほか、クマやサルなどの野生動物と人間との棲み分けを図ることを目的としている。

□本誌に関するご要望、ご意見等をお寄せください。住所、氏名、年齢、職業のご記入をお忘れなく。個人情報については、内容確認以外に使用いたしません□本誌の内容が富山県ホームページでもご覧になれます <http://www.pref.toyama.jp/>

ふるさと夢とやま

検索

第 28 号 平成 23 年 10 月

この冊子は、富山県農村環境創造基金ならびに富山県棚田地域水と土保全基金で発行されています。

発行



富山県農林水産部農村振興課

〒930-8501 富山市新総出輪 1 番 7 号  
TEL 076-444-3381 FAX 076-444-4427  
富山県農村環境創造基金 <http://www.pref.toyama.jp/sections/1605/noukan/index.html>  
とやま棚田ネットワーク <http://www.taff.or.jp/tanada/tanada.htm>

編集



社団法人富山県農林水産公社

〒930-0096 富山市舟橋北町 4 番 19 号  
TEL 076-441-7398 FAX 076-444-3851  
<http://www.taff.or.jp/>

この冊子は再生紙を使用しています。